

「四季」の作曲者

# ヴィヴァルディ

アントニオ ヴィヴァルディ  
*Antonio Vivaldi*

[1678~1741年]



© Alinari Archives, Florence/AMF/amanaimages

イタリアのベネチア生まれ。ヴァイオリン奏者であった父より音楽を習い、10歳でオーケストラの見習いになる。音楽家としてだけでなく、15歳で聖職の道に入り、25歳で司祭になった。作曲家としても名が知られるようになり、1725年(47歳)のときに「春」を含む「和声と創意の試み」が出版され、名声の絶頂をむかえる。62歳の時に旅に出たまま、翌年ウィーンでこの世を去った。

## ヴィヴァルディの生まれた町



ベネチア(ベニス)は当時、文化の中心地で、音楽家がたくさん集まってきていた。



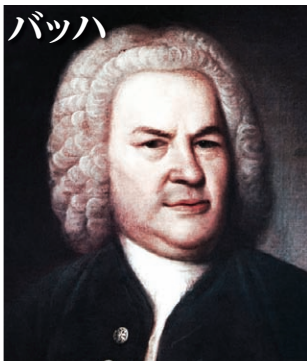
### 「四季」について

「和声と創意の試み」は全12曲で、その1番から4番までが「四季」。小鳥のさえずる春、暑くてけだるい夏、しゅうかく収穫を祝う秋、寒さに凍える冬の情景が描かれている。



▲「冬」2楽章より(火のそばで静かな、満ち足りた日々を送り、そのあいだ外では雨が万物をうるおす)

## バロック時代



ドイツ  
[1685~1750年]



ドイツ→イギリス  
[1685~1759年]

ヴィヴァルディの生きた時代を音楽の歴史では**バロック時代**と呼ぶ。そのころ日本は江戸時代。ヨーロッパではこのころチェンバロやオルガン、ヴァイオリンなどが完成。バロック時代の代表的な作曲家としては、ヴィヴァルディの他にバッハ、ヘンデルがいる。



### チェンバロについて

形はグランドピアノに似ているが、ピアノとは音の出る仕組みがちがう。ピアノは弦をたたいて音を出す、チェンバロは**ばん**弦をはじいて音を出し、ピアノに比べて音が小さい。バロック時代にはピアノはまだ開発されてなく、チェンバロが広く使われていた。